

Excel 2010

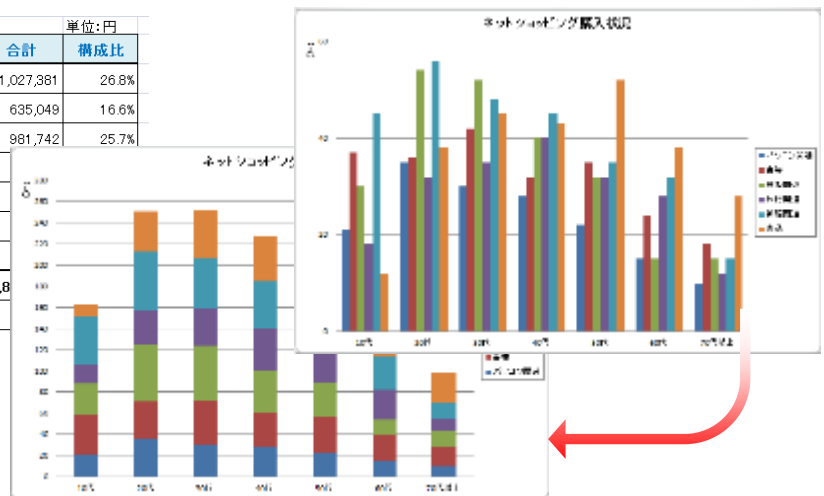
基礎



Excel は、表計算からグラフ作成、データ管理までさまざまな機能を兼ね備えた表計算ソフトです。

今回は、Excel の基本操作、簡単な表計算、簡単なグラフ作成を学習します。

地区	店舗名	1月	2月	3月	合計	単位:円	
						構成比	
中区	大手町店	356,627	308,627	362,127	1,027,381	26.8%	
	白島サンライズ店	210,054	201,454	223,541	635,049	16.6%	
	八丁堀店	335,242	305,242	341,258	981,742	25.7%	
東区	牛田プラザ店	106,415	98,445	124,583			
	中山店	87,654	76,543	87,432			
	光町店	115,410	103,270	132,540			
	戸坂クリア店	84,763	73,256	92,541			
合計		1,296,165	1,166,837	1,364,022	3,8		
平均		185,166	166,691	194,860			



第1章	Excel の基礎知識	1
第2章	データ入力	5
第3章	表の作成	16
第4章	グラフ作成	29

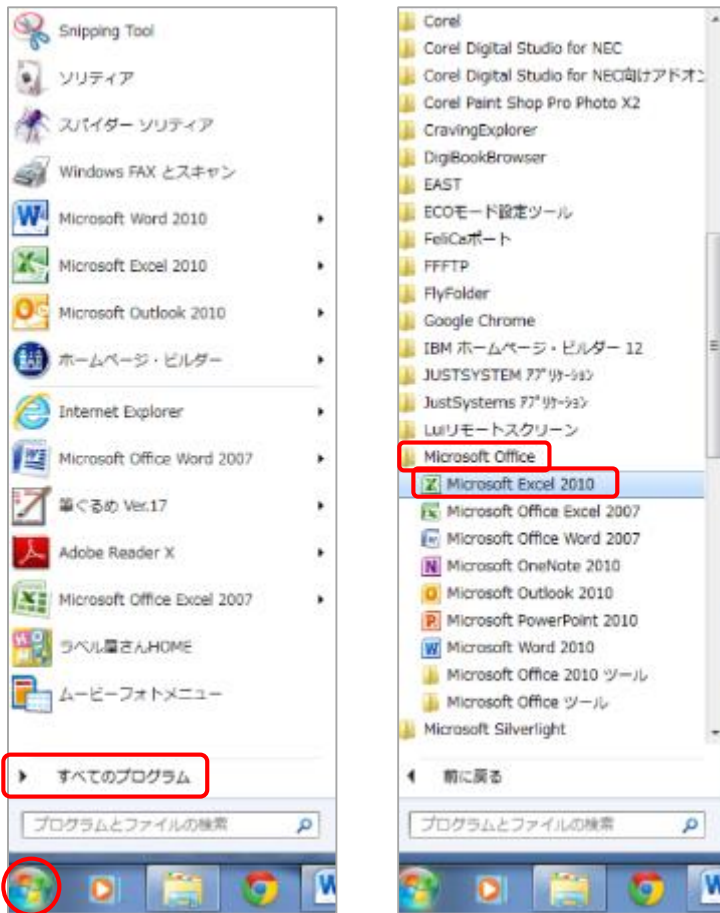
暮らしのパソコンいろは


早稲田公民館 ICT サポートボランティア

第 1 章 Excel の基礎知識

1. Excel の起動と終了 ☞ 別紙 Excel 2013 対応—p1 参照

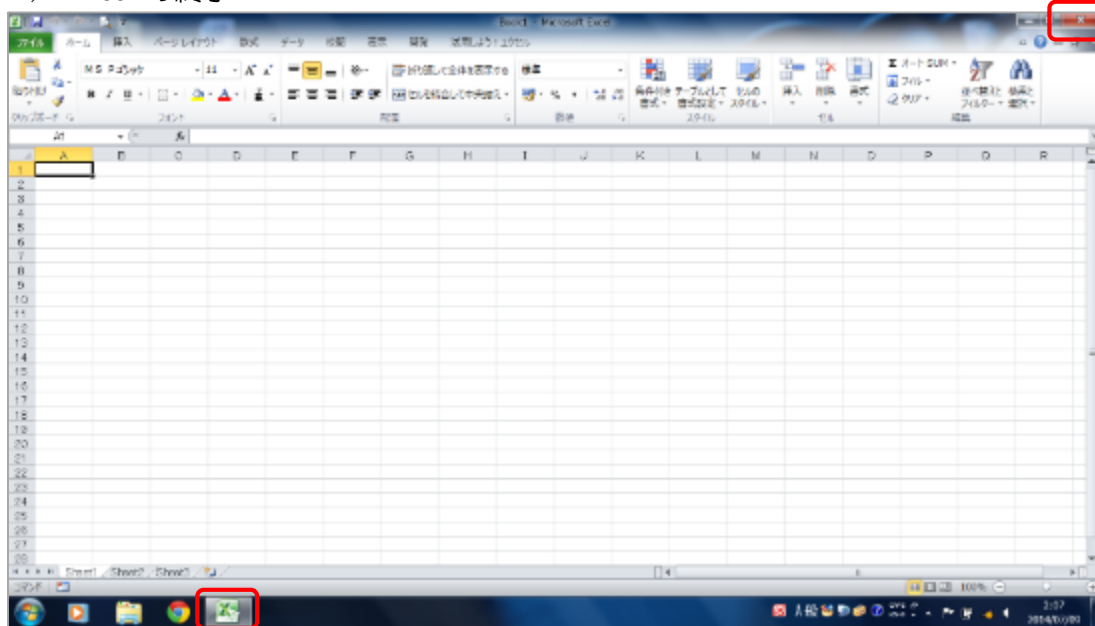
1) Excel の起動




①  (スタート) をクリック→《すべてのプログラム》をポイント→《Microsoft Office》をクリック→《Microsoft Excel 2010》をクリック→Excel が起動し《Microsoft Excel》のウィンドウが表示されます。

タスクバーには  のボタンが表示されていることを確認しましょう。

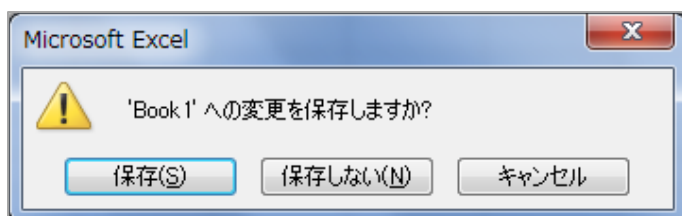
2) Excel の終了



① Excel ウィンドウの  (閉じる) をクリックします。

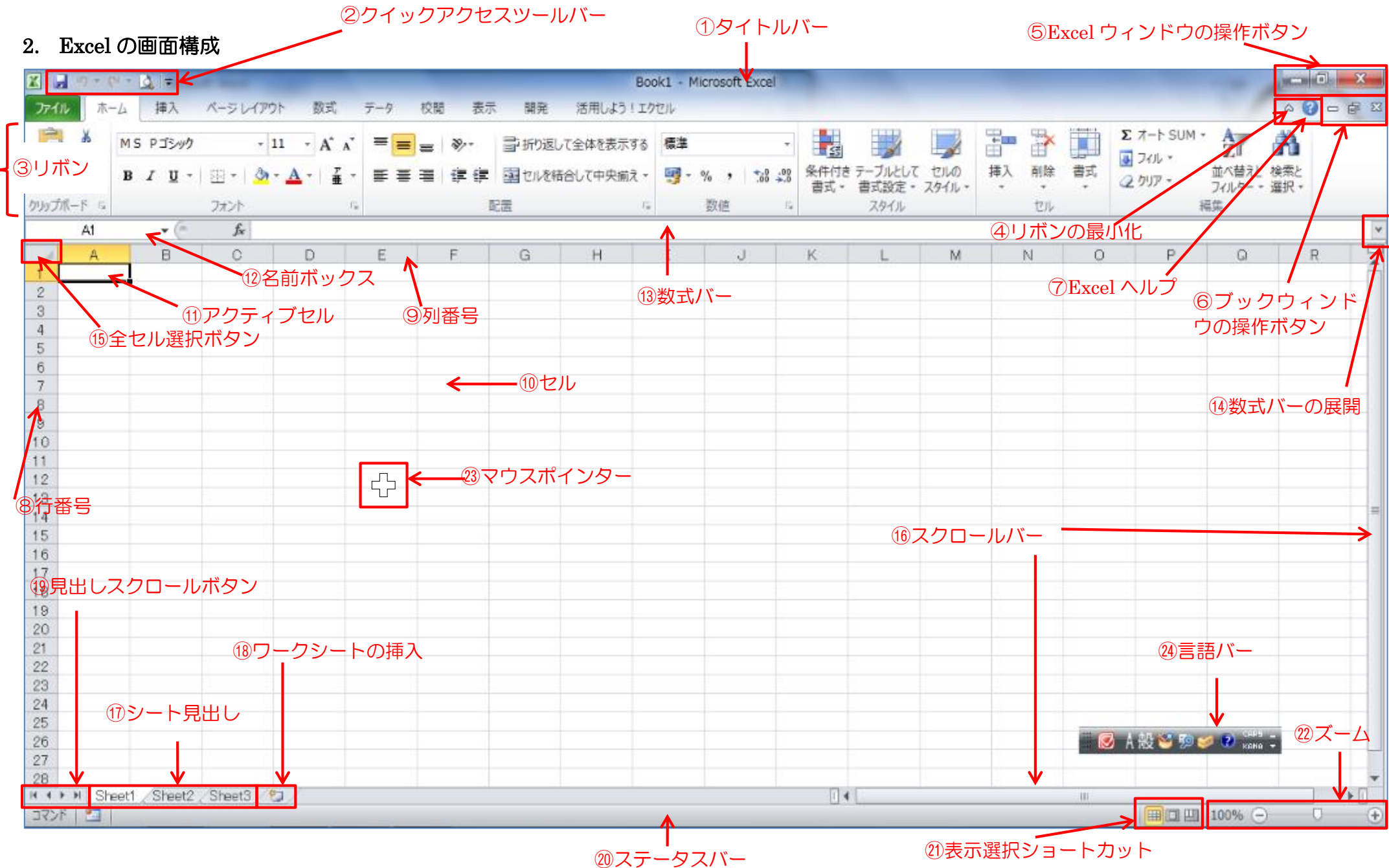
Excel のウィンドウが閉じられ、タスクバーの Excel のボタンが消えます。

◆ ファイルに操作を加え、保存せずに終了すると次のメッセージが表示されます。



- 保存** ・ ・ 上書き保存、または名前を付けて保存
- 保存しない** ・ ・ 保存しないで終了
- キャンセル** ・ ・ アプリケーションを閉じない (ブックウィンドウに戻る)




2. Excel の画面構成



① タイトルバー

ブック名とアプリケーション名が表示されます。


② クイックアクセスツールバー

よく使うコマンド(作業を進めるための命令)を登録できます。初期設定では、 (上書き保存)
 (元に戻す)  (やり直し)の3つのコマンドが登録されています。

③ リボン

コマンドを実行するときに使います。関連する機能ごとに、タブに分類されています。


④ リボンの最小化

リボンが折りたたまれて、タブ名だけが表示され、ボタンは  (リボンの展開)にかわります。

⑤ エクセルウィンドウの操作ボタン

 (最小化)

ウィンドウが一時的に非表示になります。

 (元に戻す)

ウィンドウが元のサイズに戻ります。

※  (最大化)

ウィンドウを元のサイズに戻すと (元に戻す) から (最大化) に切り替えます。クリックすると最大化されます。


 (閉じる)

Excel を終了します。

⑥ ブックウィンドウの操作ボタン

 (ウィンドウの最小化)


ブックウィンドウが一時的に非表示になります。

 (ウィンドウを元のサイズに戻す)

ブックウィンドウが元のサイズに戻ります。

※  (最大化)

ウィンドウを元のサイズに戻すと (元に戻す) から (最大化) に切り替えます。クリックすると最大化されます。

 (ウィンドウを閉じる)

ブックウィンドウを閉じます。

⑦ Microsoft Excel ヘルプ

≪ Excel ヘルプ ≫ ウィンドウが表示されます。

Excel2010 の機能や操作方法を確認できます。

⑧ 行番号

シートの行番号を示します。行番号【1】から行番号【リボンのボタンの形状について】

ディスプレイの画面解像度や Excel ウィンドウのサイズによってボタンの形状が異なる場合があります。表示されるポップヒントでボタン名を確認しましょう。

号【1048576】まで 1,048,576 行あります。

⑨ 列番号

シートの列番号を示します。列番号【A】から列番号【XFD】まで 16,384 列あります。

⑩ セル

列と行が交わるひとつひとつのマスのことです。列番号と行番号で位置を表します。

⑪ アクティブセル

処理の対象になっているセルのことで、太枠で囲まれて表示されます。

⑫ 名前ボックス

アクティブセルの位置などが表示されます。

⑬ 数式バー

アクティブセルの内容が表示されます。

⑭ 数式バーの展開

数式バーを展開して、表示領域を拡大します。

⑮ 全セル選択ボタン

シート内の全てのセルを選択するときに使います。

⑯ スクロールバー

シートの表示領域を移動するときに使います。

⑰ シート見出し

シートを識別するための見出しです。名前を変更できます。

⑱ ワークシートの挿入

新しいシートを挿入するときに使います。

⑲ 見出しスクロールボタン

シート見出しの表示領域を移動するときに使います。

⑳ ステータスバー

現在の作業領域や処理手順が表示されます。

㉑ 表示選択ショートカット

表示モードを切り替えるときに使います。

㉒ ズーム

シートの表示倍率を変更するときに使います。

㉓ マウスポインター

マウスの動きに合わせて移動します。画面の位置や選択するコマンドによって形が変わります。

㉔ 言語バー

日本語入力モードや変換モードなどを設定するときに使います。

3. Excel の基本操作

1) Excel の基本要素 ☞ 別紙 Excel 2013 対応-p1 参照

- ブック

Excelでは、ファイルの事を「ブック」といいます。Excelを起動すると、自動的に新規ブック「Book1」が開かれ、複数のブックを開いて作業することができます。処理の対象になっているブックウィンドウを「アクティブウィンドウ」といいます。

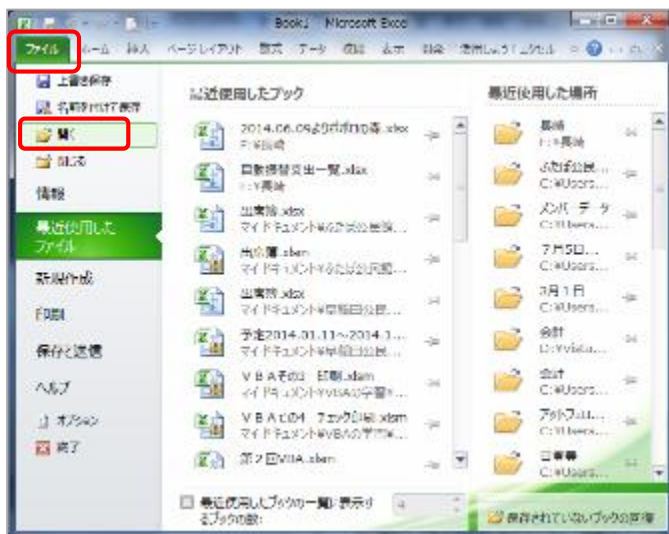
- ワークシート

表やグラフを作成する領域を「ワークシート」または「シート」といいます。ブック内には、初期設定で3枚のワークシート（「Sheet1」「Sheet2」「Sheet3」）があります。必要に応じて枚数を増やしたり減らしたりできます。シート1枚の大きさは、1,048,576行×16,384列で、操作の対象となるシートを「アクティブシート」といい、一番手前に表示されます。

- セル

データを入力する最小単位を「セル」といいます。処理の対象になっているセルを「アクティブセル」といい、太枠で囲まれて表示されます。アクティブセルの行番号と列番号は、背景色がオレンジ色になります。

2) ブックを開く

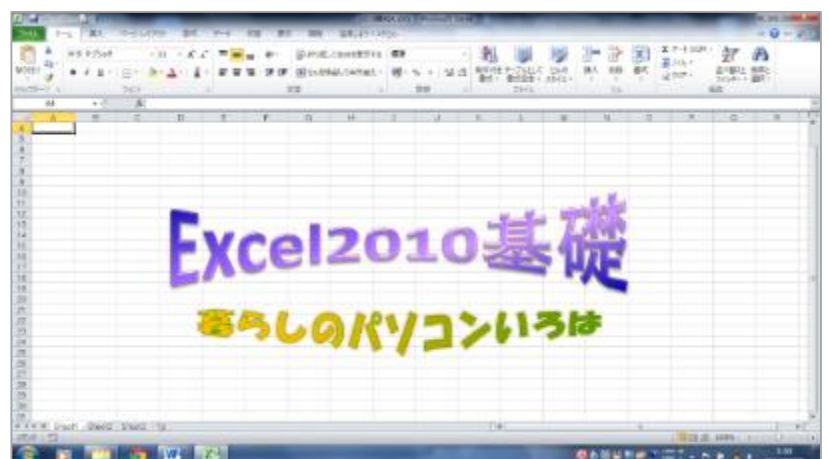
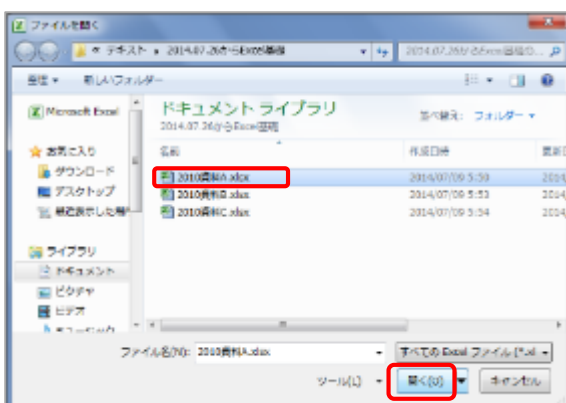


① ≪ファイル≫タブをクリックし、≪開く≫をクリックします→≪ファイルを開く≫のダイアログボックスが表示されます。

② 「ドキュメント」内の「Excel2010 基礎」を選択し、≪開く≫をクリックします。

「ドキュメント」が表示されていない場合は、左側の一覧から「ライブラリ」をクリックし、右側の一覧から「ドキュメント」を選択し、≪開く≫をクリックします。

③ 一覧から「2010 資料 A」を選択し、≪開く≫をクリックします。ブックが開かれます。



3) アクティブセルの指定

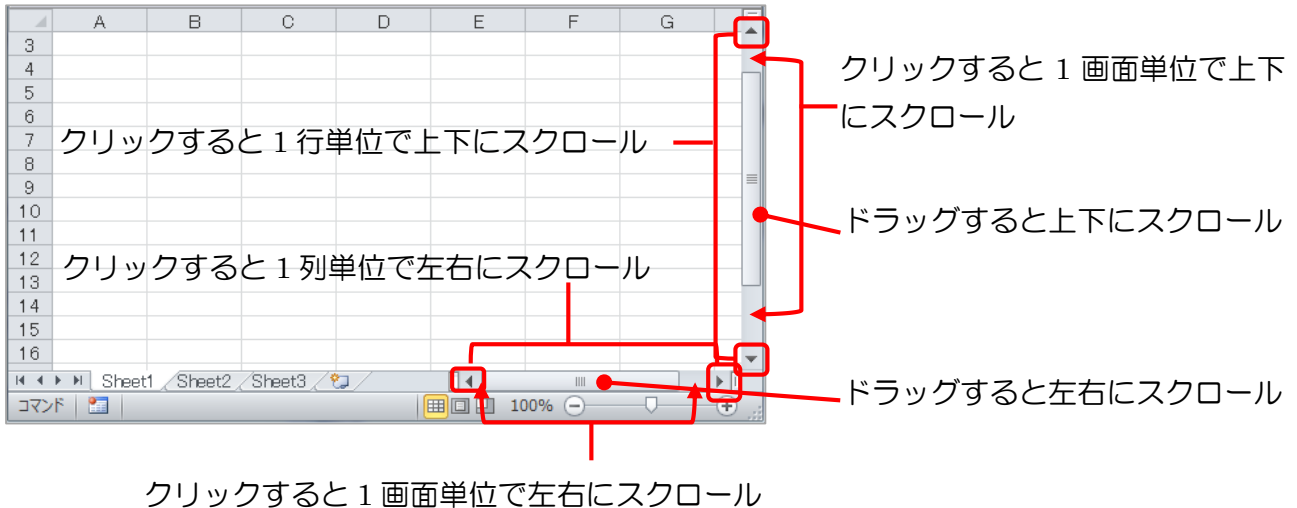
セルにデータを入力したり編集したりするには、対象のセルをアクティブにします。アクティブにするには、対象のセルをクリックします。

参考 ホームポジション

【A1】の位置をホームポジションといいます。

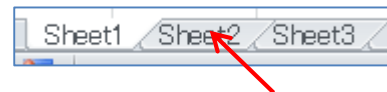
4) シートのスクロール

目的のセルが表示されていない場合は、スクロールバーを使ってシートの表示領域をスクロールします。






5) シートの切り替え

シートの切り替えは、シート見出しをクリックします。



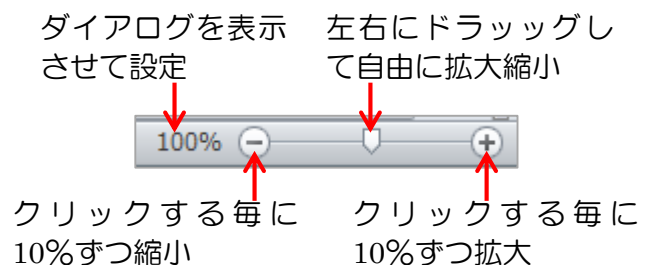
6) 表示モードの切り替え

シートには、3つの表示モードがあります。

-  標準.....標準の表示モード
-  ページレイアウト.....印刷結果に近い表示モード
-  改ページプレビュー.....印刷範囲や改ページ位置を表示するモード

7) 表示倍率の変更

シートの表示倍率は10~400%の範囲で自由に変わります。



8) ブックを閉じる

ブックウィンドウの  (ウィンドウを閉じる) をクリックします。